

1. 試合時間

当日の天候および試合状況によっては、試合前もしくはハーフタイムにおいて、大会本部と両チーム顧問の協議により残りの試合時間を短縮することもあり得ます。

※ランニングタイムについて

- ①前半で30点差がついた場合・・・後半から15分ランニングタイムとします。
- ②第3Q途中で30点差がついた場合も、その時点からランニングタイムとする。
- ※3Q残り7分28秒で30点差がついた場合は、残り時間をランニングタイムとし、4Qは(1)の規定で行う。
- ③得点差が30点未満になった場合でもランニングタイムは継続する。
- ④ウオータータイム、チームタイムアウト、負傷者のタイムアウト、反則の場合掲示の停止をする。
- ※リードされているチームに負傷者が出た場合は、ランニングタイムは継続する。

2. 怪我によるタイムの取り方

選手に異状が見られた時には、選手・コーチ・その他関係者誰でも結構ですから、早め早めに審判にタイムアウトを請求して下さい。

チームタイムアウトにはならないし、誰でも請求はできるので、遠慮せずに直ちに審判に申告するように選手に予めご指導下さい。

3. ウォータータイムアウト

当日の天候にかかわらず、全ての試合の全てのクォーターにタイムアウトを取ることにします。

ベンチに戻り、水分補給だけでなく、指導者による各選手の状況確認を行って下さい。

★各Q1回とするが、当日の天候により2回とする。また、対戦校同士の意見を尊重する。

4. クォータータイム

1分間の時間は従来通りとしますが、水分などを十分とるように活用して下さい。

5. ハーフタイム

本部役員とチーム指導者の協働によって、各選手の状況確認を行うことにします。必要あればドクターにも診てもらいます。

この時間をとるため、ハーフタイムを15分として運用します。

6. 怪我人への対応

比較的軽度の怪我人への対応は各チームでお願いします。大会会場近辺の医療機関の一覧を大会本部で用意します。

以上、より安全な大会運営にご協力賜りますようお願い申し上げます。